

自己評価表

平成 27 年度

ちびっこはうす保育園

こどもの活動や状態に対する評価と、保育士自身の保育や援助、環境設定等に対する評価を総合的に判断して、年間の評価を行う。

No	項 目	評 価		備 考
		前期	後期	
1	園の保育理念、基本方針の理解はされていたか。	◎	◎	
2	こどもを主体とした保育がなされたか。	◎	◎	
3	発達過程に沿った、また発達段階に必要な経験をさせられたか。	◎	◎	
4	こどもの心の育ちや意欲、取り組む過程への配慮は適切だったか。	◎	◎	
5	こどもの状況に応じて柔軟な保育ができたか。	◎	◎	
6	設定したねらいが達成できたか。	○	○	
7	環境構成は適切だったか。	◎	◎	
8	援助方法、援助技術は適切だったか。	◎	○	職員会議等で意見交換をしてし、改善していく。
9	前月の反省、評価は生かされていたか。	◎	○	//
10	保育者間で必要な連携はとれていたか。	◎	◎	
11	保護者との連携は十分に取れていたか。	○	◎	保護者懇談会の開催、及び日々の連絡帳によりコミュニケーションをとるようにした。
12	必要な記録を残すことができたか。	○	◎	
13	保健計画に基づき、養護的な配慮がなされていたか。	◎	○	必要な場合、専門の関係機関と連携していく
14	適切な業務実施と効率化はされていたか。	○	○	効率化に向けて取り組む。
15	自分の役割に、自覚・責任ある判断・積極的な取組ができたか。	○	◎	
16	ワークライフバランスはとれていたか。(健康維持・心のゆとり)	○	◎	有給休暇の積極的取得に努めた
17	職場の良好な人間関係の為の取組がなされたか。	◎	◎	
18	研修の計画及び積極的参加はなされたか。	△	○	
19	実習生の育成（ボランティアの対応）への積極的取組ができたか。	○	○	実習生の受入体制について全職員がかかわるようにする
20	子育て支援に配慮した事業実施がなされたか。	◎	○	必要な家庭には、理事によるカウンセリングの紹介をした。

〈年間評価〉

保護者との連携をとりながら、子ども一人一人の発達段階に必要な保育を心掛けた。

家庭からの相談件数も増え、内容も多種にわたってきている。適切に対応したが、今後の支援について課題がある。

課題解決に向け、研修などを通し研鑽を重ねていきたい。

充分達成できた	◎
達成できた	○
あまり達成できなかった	△